



発行所(〒371-8666) 前橋市吉野町1-50-21
上毛新聞社
電話 市外局番(027)
(総合)254-9911
(編集)254-9933
(広告)254-9944
(販売)254-3131
(事業)254-9955
©上毛新聞社 2010年

号外

決断を評価 富岡由紀夫民主党県連

会長の話 鳩山首相の決断を評価したい。決意を重く受け止め、原点に立ち返って新生民主党をアピールしていきたい。非常に勇気づけられた。

の比例代表投票先、政党支持率ともに自民党が民主党を政権交代後初めて上回った。

小沢幹事長も辞任

4日に後継選出 参院選迫り決断

鳩山由紀夫首相(63)は2日、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移

設問題をめぐる社民党の連立離脱など政権運営の混乱の責任を取り、退陣する意向を表明した。民主党の緊急両院議員総会で「この職を引かせていただく」と述べた。首相は小沢一郎幹事長(68)に

辞任を求め、小沢氏も了承したことも明らかにした。後継選出に決断を迫り、参院選迫り決断

鳩山内閣は近く総辞職。民主党は後継代表を選出する両院議員総会を4日に開催し、首相指名を経て新政権を発足させる方針だ。次期首相候補には、菅直人副総理兼財務相(63)らの名が挙がっている。

民主党幹部は6月16日までの今国会会期を延長



民主党の両院議員総会で退陣を表明する鳩山首相＝2日午前、国会

国民の期待失望に

解説

歴史的な政権交代の顔だった鳩山由紀夫首相が就任8カ月余りで退陣に追い込まれた。「このままでは参院選惨敗は必至」との民主党内の危機感が、続投を望んだ首相を津波のようにのみ込んだ形だ。この事態を招いた最大の原因は、米軍普天間飛行場移設問題の迷走に象徴される首相の政治指導者としての資質、能力の欠如にある。政権交代への国民の期待を失望に変えた責任は限りなく重い。

だが、その責任は民主党全体が負うべきものではない。事業仕分けは高い評価を得たものの、衆院選マニフェスト(政権公約)に掲げた「税金の無駄遣い根絶」には遠く、総予算の組み替えでマニフェスト実現の財源を捻出する約束も実現のめどは立っていない。鳴り物入りの「政治家主導」も空回り続いだ。難しい政策調整を首相、内閣任せにしてきた党側の対応も無責任のそしりを免れない。

問われているのは民主党としての政権担当能力であり、顔をすげ替えれば国民の期待は戻ると考えるのは早計だ。

鳩山内閣の反省を踏まえ、政権をどう立て直すか。新代表には、政策の優先順位と政策決定の在り方について明確な方針を示すことが求められる。首相と小沢一郎幹事長の「政治とカネ」問題にけじめをつけることも信頼回復の条件になる。